

ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油

開発の経緯

アルガニアスピノサ(学名Argania Spinosa)はアルガンの木として食用と化粧品に利用される植物です。モロッコで生育しているアルガン樹と同一です。これらの有用成分は、脂肪酸、有機酸、多糖類、ポリフェノールなどです。しかし、この植物には食物繊維が多く、有用成分の利用を妨げています。

そこで、アルガニアスピノサの働きを高め、加えて副作用を軽減するため、アルガニアスピノサの油粕を発酵する新しい発酵エキス油を開発しました。この発酵エキス油の特徴は有用成分が低分子であり、さらに、吸収が早く、働きがダイレクトであるという点です。かつ、副作用も少なく、安全性が高まりました。抽出にはBG、エタノールなどを使用せず、防腐剤も含まない保存性の高い安定な発酵エキス油になりました。

化粧品用

表示名称 ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油

INCI名 Monascus/Argania Spinosa Seedcake Ferment Oil

原材料 : アルガニアスピノサ油粕(日本産)、ベニコウジ菌(日本産)

保管方法 : 冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限 : 2年間

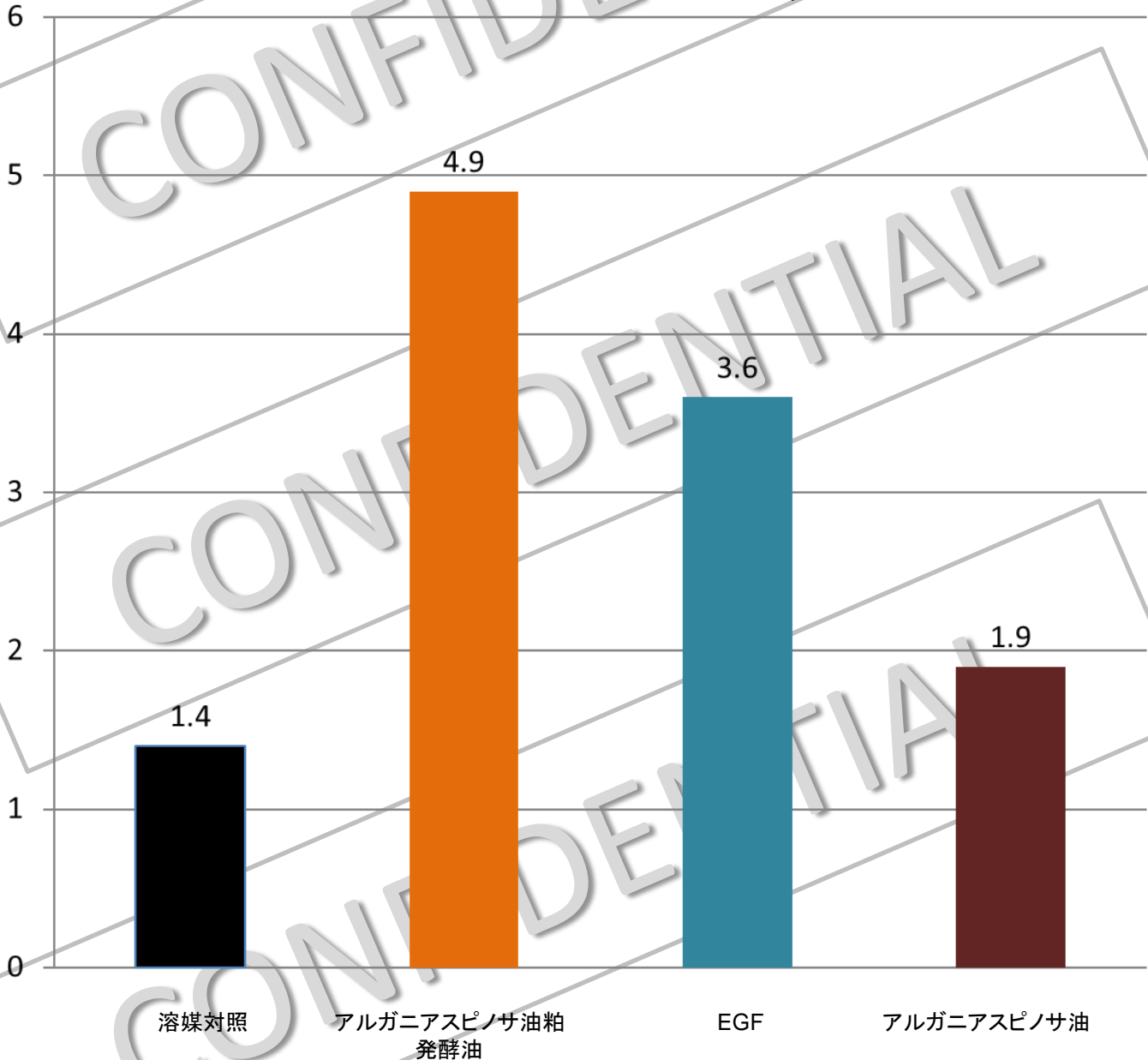
その他 : 防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。
日本製造

ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油

ヒト皮膚表皮幹細胞に対する働き — 細胞増殖作用 —

ヒト皮膚表皮幹細胞

細胞数 (× 1000 cells)



ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油は紫外線照射により障害を与えたヒト皮膚表皮幹細胞を増加させました。皮膚細胞の保護作用が期待されます。

製品規格書

製品名 : ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油

検査項目 :

1. 外観

検査項目	規格	測定方法
色	無色透明～黄色	目視
状態	油溶性	目視

2. 重金属・微生物

検査項目	規格	測定方法
砒素	2ppm 以下	原子吸光光度法
重金属	20ppm 以下	硫化ナトリウム比色法
一般細菌数 (生菌数)	100 以下/g	標準寒天平板培養法
真菌数	陰性 (30 以下) /100g	デキストリン培地培養法
大腸菌群数	陰性 (30 以下) /100g	MPN 算出法

化粧品用

表示名称 ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油

INCI 名 Monascus/Argania Spinosa Seedcake Ferment Oil

原材料 : アルガニアスピノサ油粕 (日本産)、ベニコウジ菌 (日本産)

保管方法 : 冷暗所に保管する。

注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

未開封時賞味期限 : 2年間

その他 : 防腐剤、添加物、BGなどの有機溶媒は使用していません。

日本製造

製造元 株式会社 安理ジャパン

以上

安全データシート (SDS)

作成日 平成 30 年 1 月 15 日

< 1. 製品情報 >

製品名 : ベニコウジ菌／アルガニアスピノサ油粕発酵油
製造法概略 : アルガニアスピノサ油粕をベニコウジ菌で発酵し、油脂部分を濾過し、滅菌した油。
注意事項 開封後は落下菌の混入を避け、冷暗所に密閉して保管し、お早めにご使用ください。

< 2. 物質の特定 >

単一製品・混合物の区別 : 発酵エキス油
化学名 (一般名) : 特定できない
CAS RN : 特定できない
化審法番号 : なし
安衛法番号 : なし
国連番号 (番号 クラス) : 該当せず
EINECS : なし
TSCA : なし

< 3. 危険有害性の分類 >

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可能性がある。 熱、火花及び火災で着火することがある。
有害性 : 眼、呼吸器及び皮膚を刺激するおそれがある。
環境影響 : 記載すべき情報はない。

< 4. 応急措置 >

目に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で15分間以上洗浄する。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
皮膚に付着した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
吸入した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、下痢を起こす場合がある。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。